

## 令和7年度調布市ひとり親家庭等アンケート調査結果

調査期間 令和7年8月

アンケート調査票送付対象世帯

児童扶養手当受給資格者1213世帯

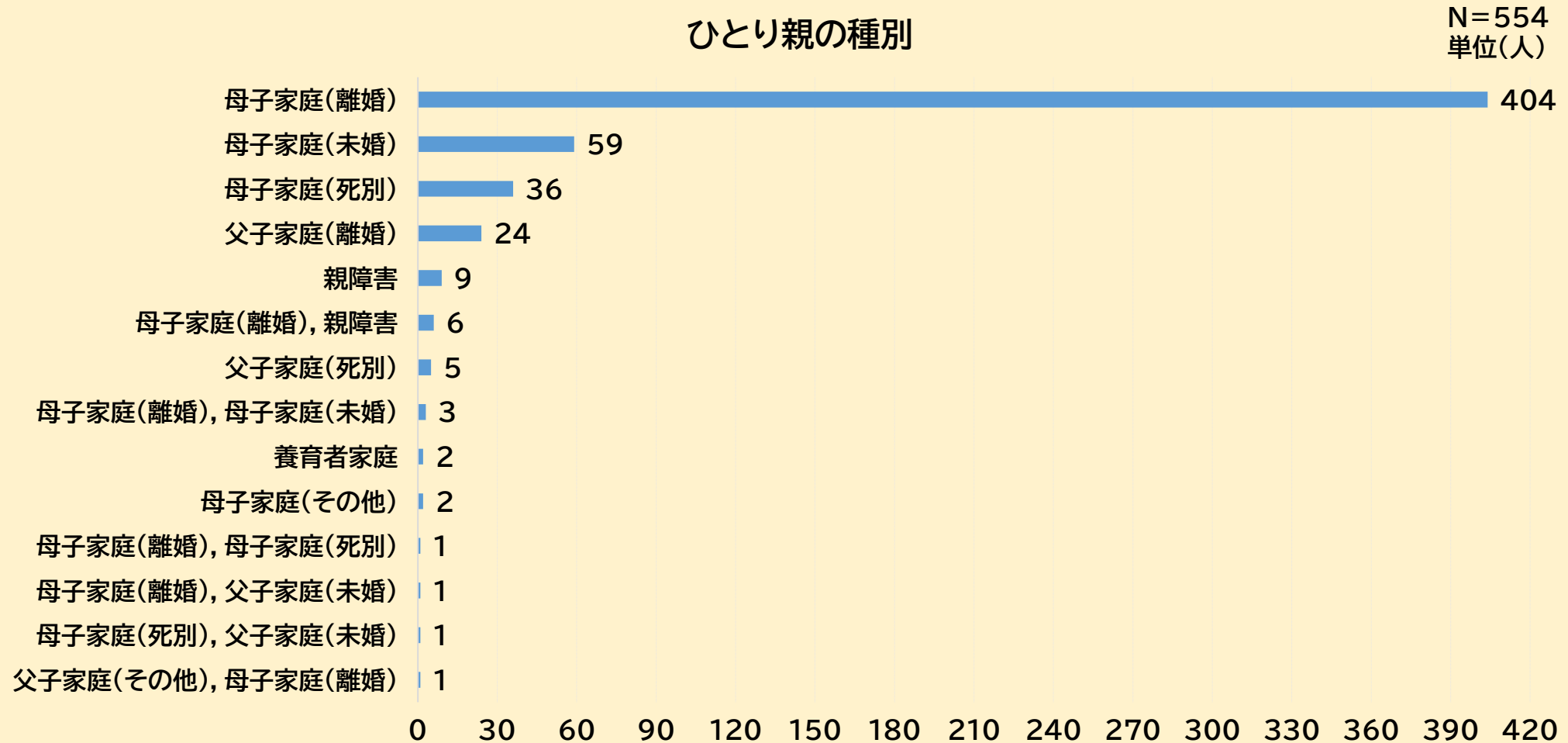
及びひとり親医療証のみ交付対象者72世帯

計 1285世帯 回収数 554枚 回収率 43.11%

- ・ 令和3年度 送付数1430世帯 回収数601枚 回収率42.02%
- ・ 令和4年度 送付数1351世帯 回収数530枚 回収率39.23%
- ・ 令和5年度 送付数1360世帯 回収数853枚 回収率62.72%
- ・ 令和6年度 送付数1339世帯 回収数640枚 回収率47.79%

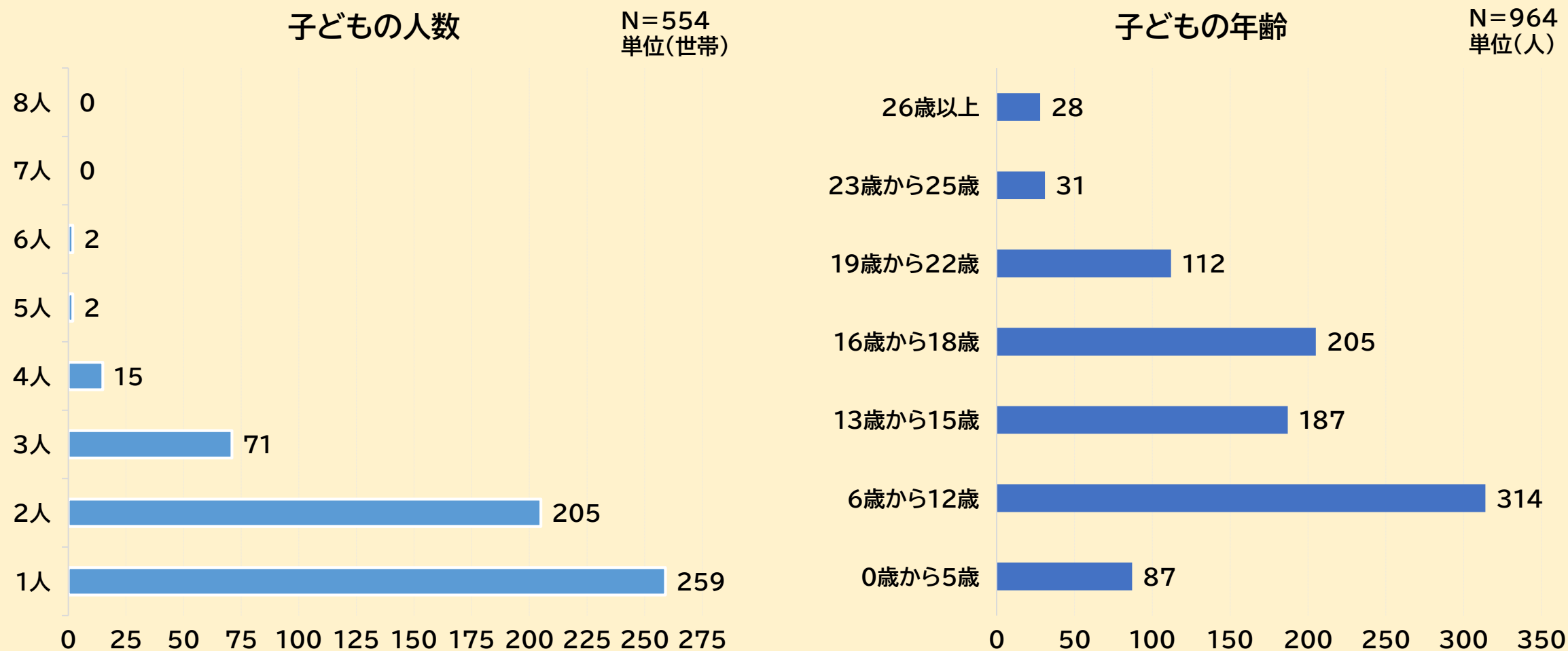
- ・ 本調査は、logoフォームを利用したインターネット回答を依頼。
- ・ 集計には回答項目の割合を表示しているが、複数回答の項目でなくても回答が複数あったものなどは修正せずに集計したため、合計が100%になっていないこともある。

## 1 世帯の状況について



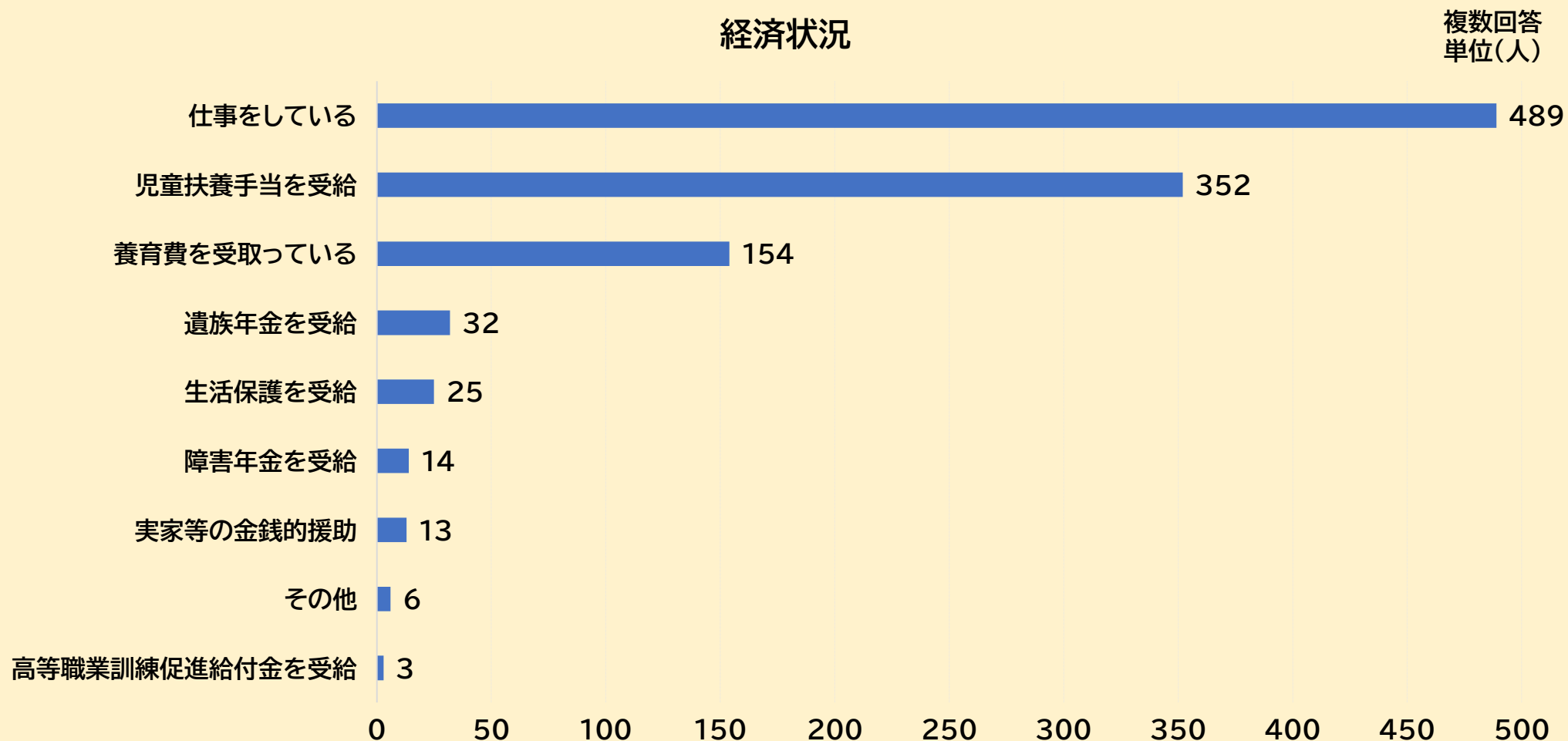
ひとり親の種別では母子家庭（離婚・未婚・死別）が92%を占める。理由としては離婚が72%で最多であった。回答の誤りが数件あった。

## 2 子どもについて



子ども1人の家庭が一番多かった。子どもの年齢は小学生世代が最多の314人、次いで高校生世代の205人、中学生世代の187人となった。昨年の調査とほぼ変わらない結果となった。

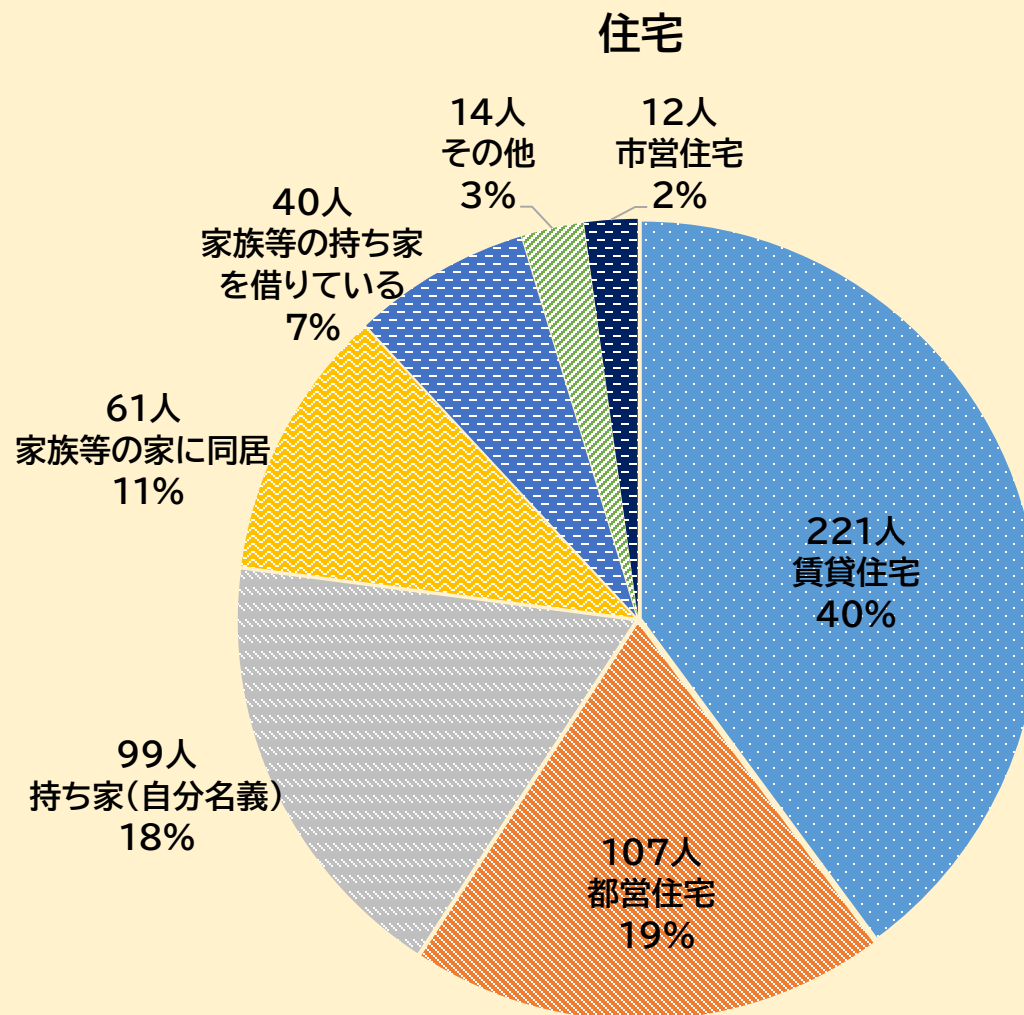
### 3 経済状況について



回答数554人のうち、仕事をしていると答えた人が489人と最多だった。次いで、児童扶養手当を受給となった。仕事をして、かつ児童扶養手当を受給している人が多い。

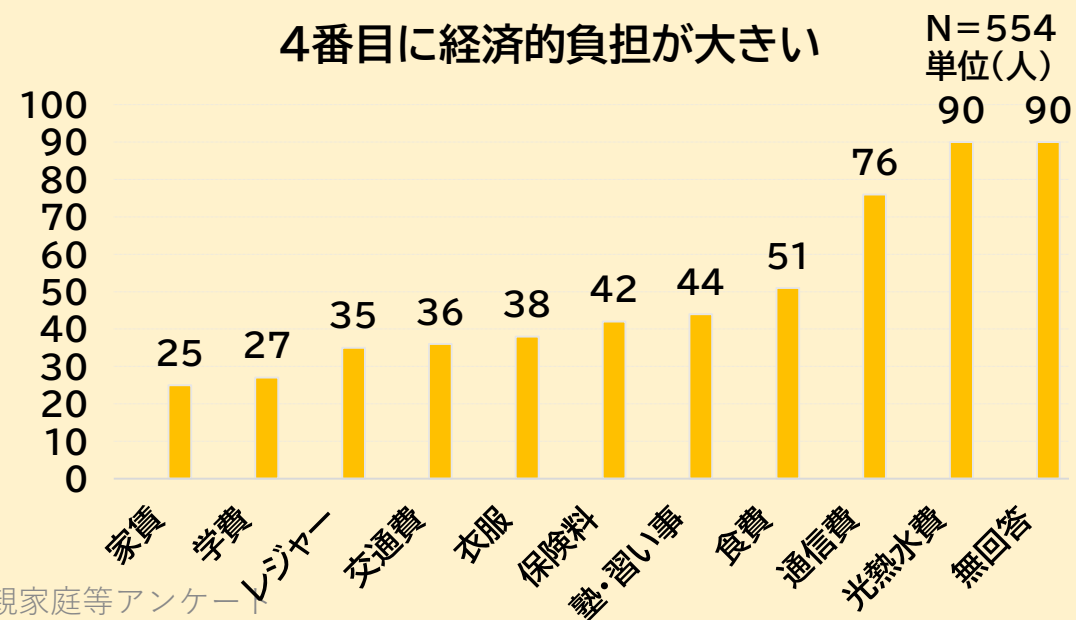
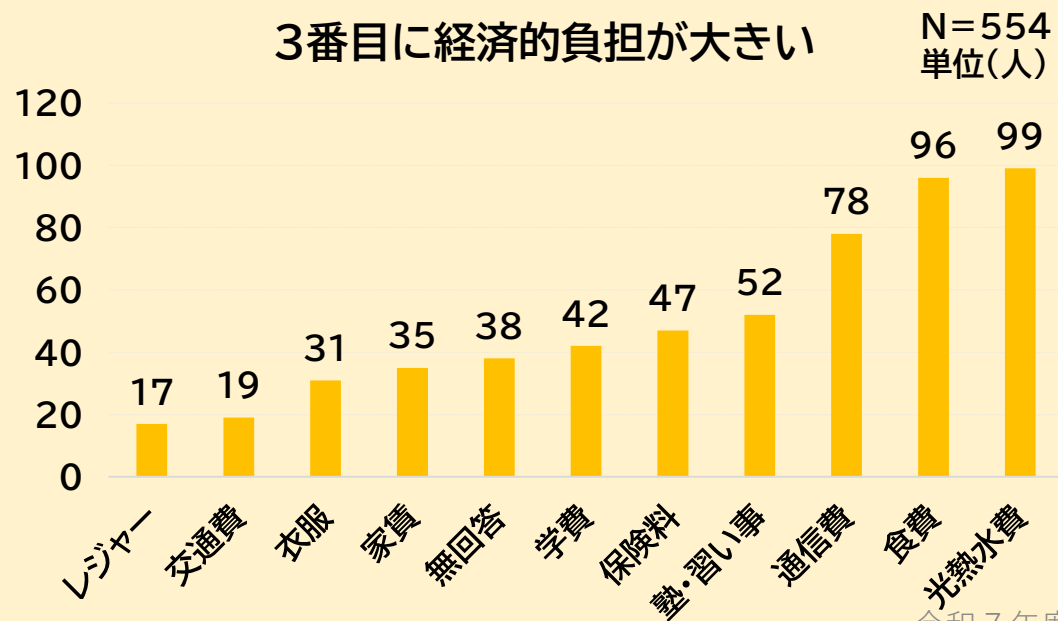
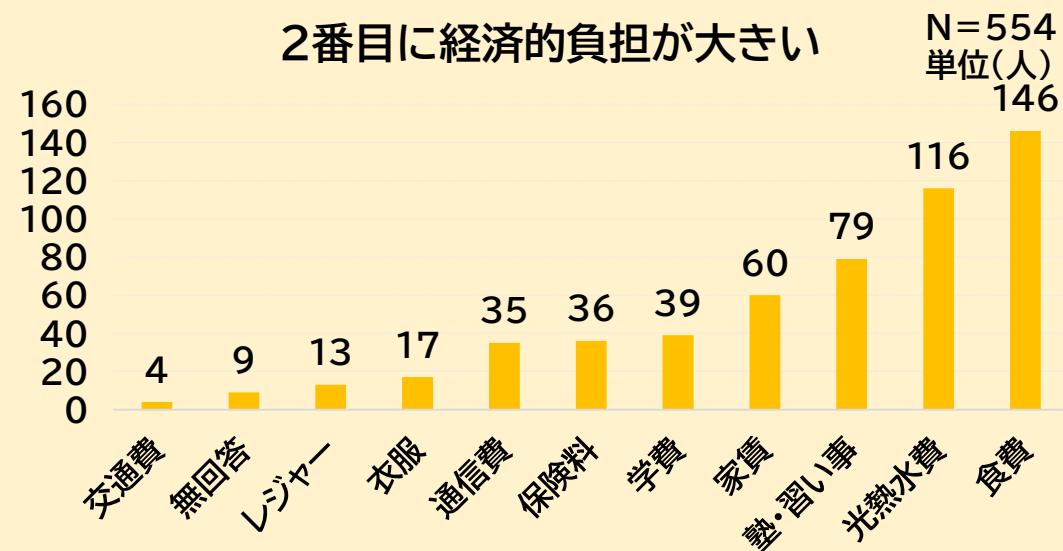
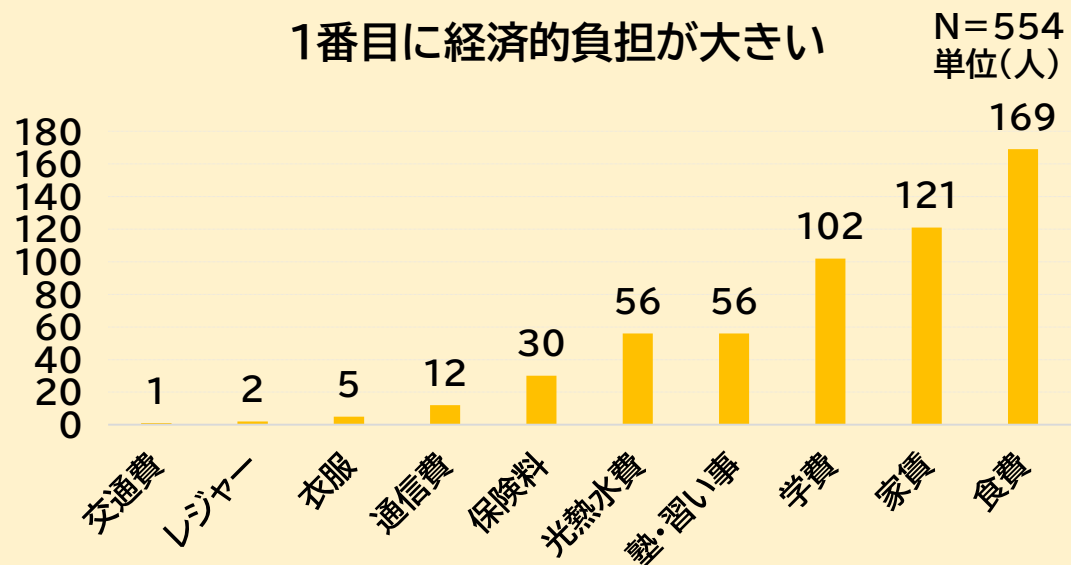
## 4 住宅の状況について

N=554

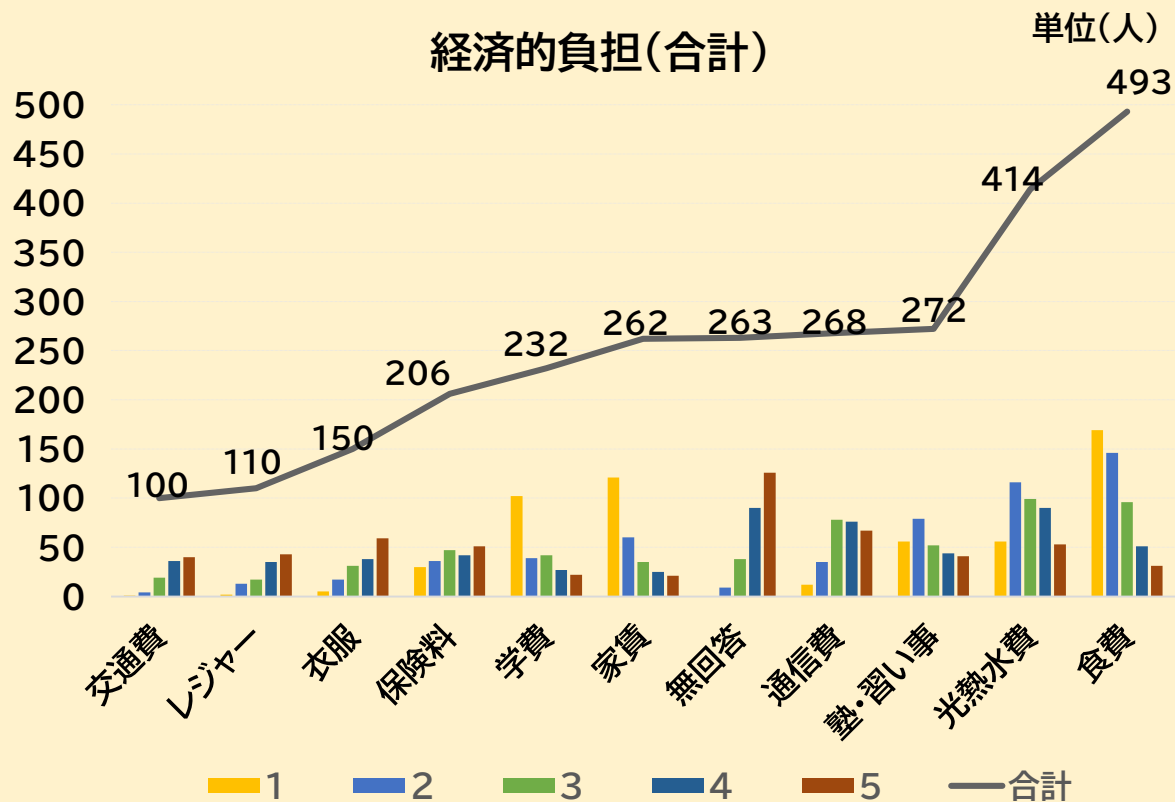
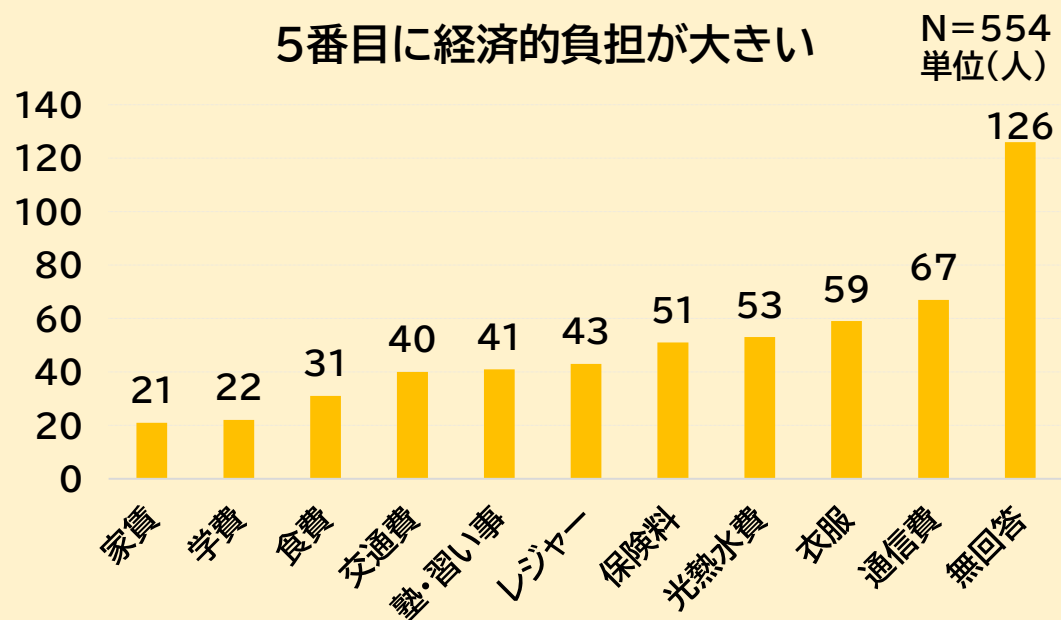


民間の賃貸住宅に住んでいる方が40%，次いで都営住宅・持ち家に住んでいる方がそれぞれ約20%となっている。

## 5 経済的な負担が大きいと感じるもの（負担が大きい順番の回答）



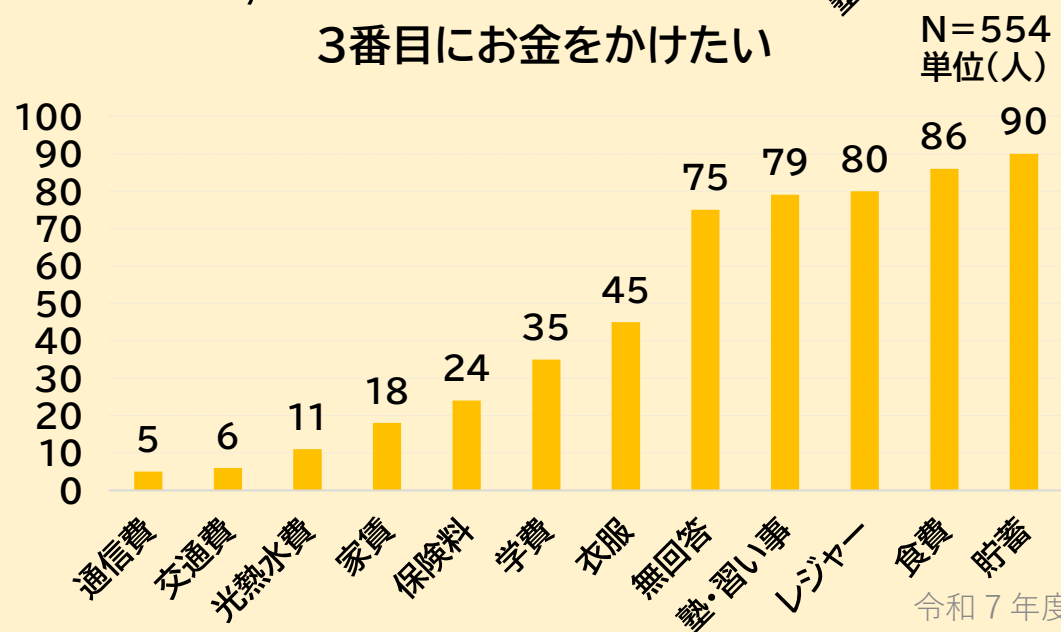
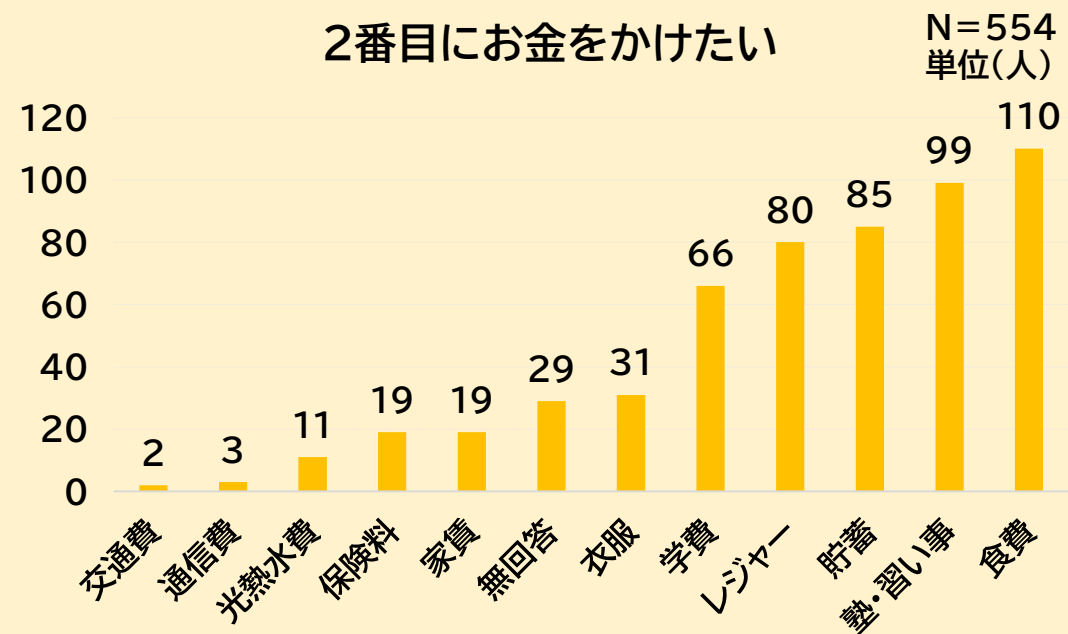
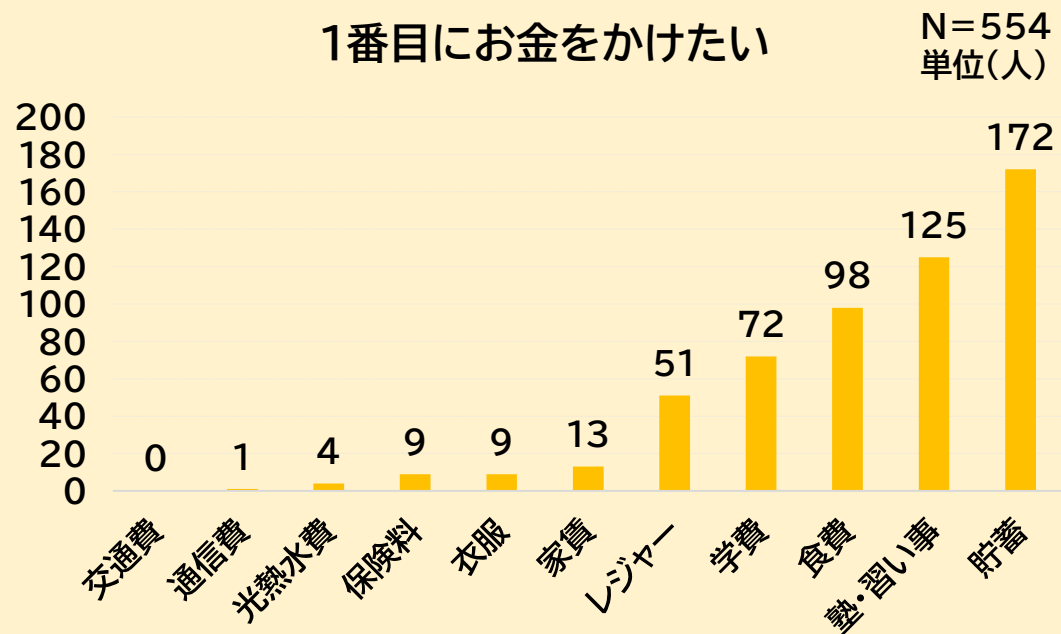
## 5 経済的な負担が大きいと感じるもの（負担が大きい順番の回答）



経済的に負担が大きいと感じている順に5つ選択して回答いただいた。

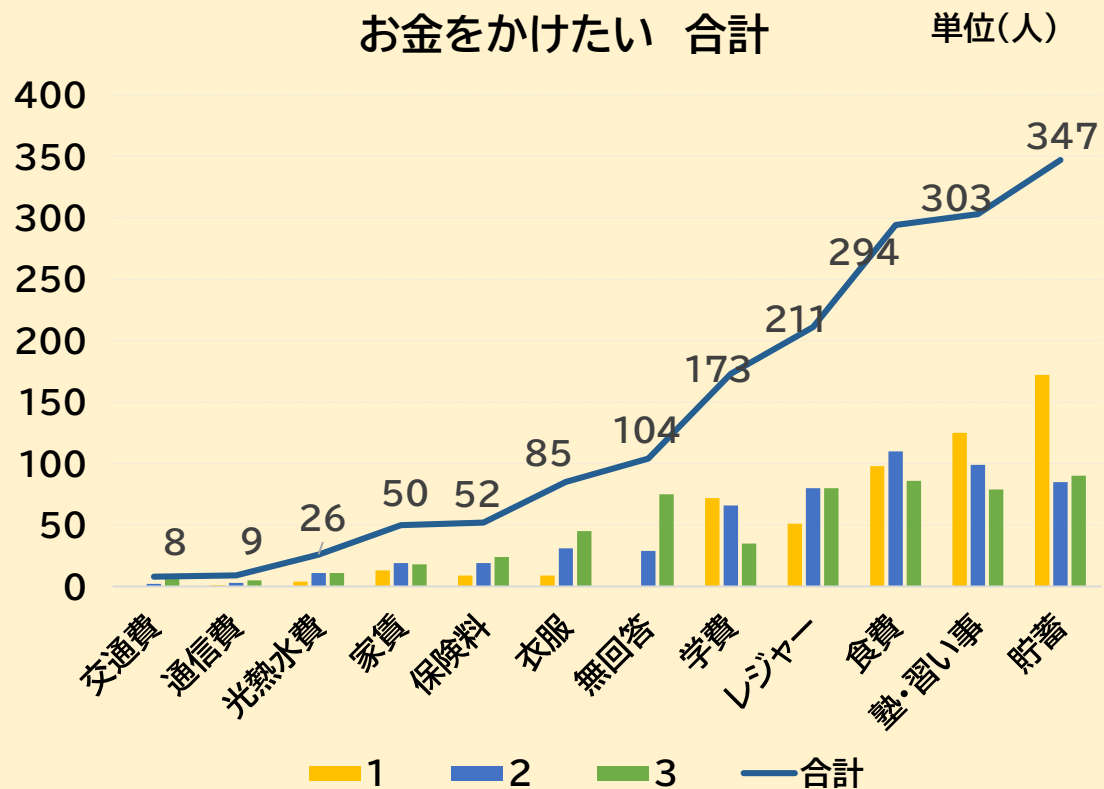
1番目に負担を感じるものでは「食費」，「家賃」，「学費」が上位となったが，総合的には「食費」，「光熱水費」，「塾・習い事の費用」の順番となった。

## 6 もっとお金をかけたいこと（お金をかけたい順番の回答）



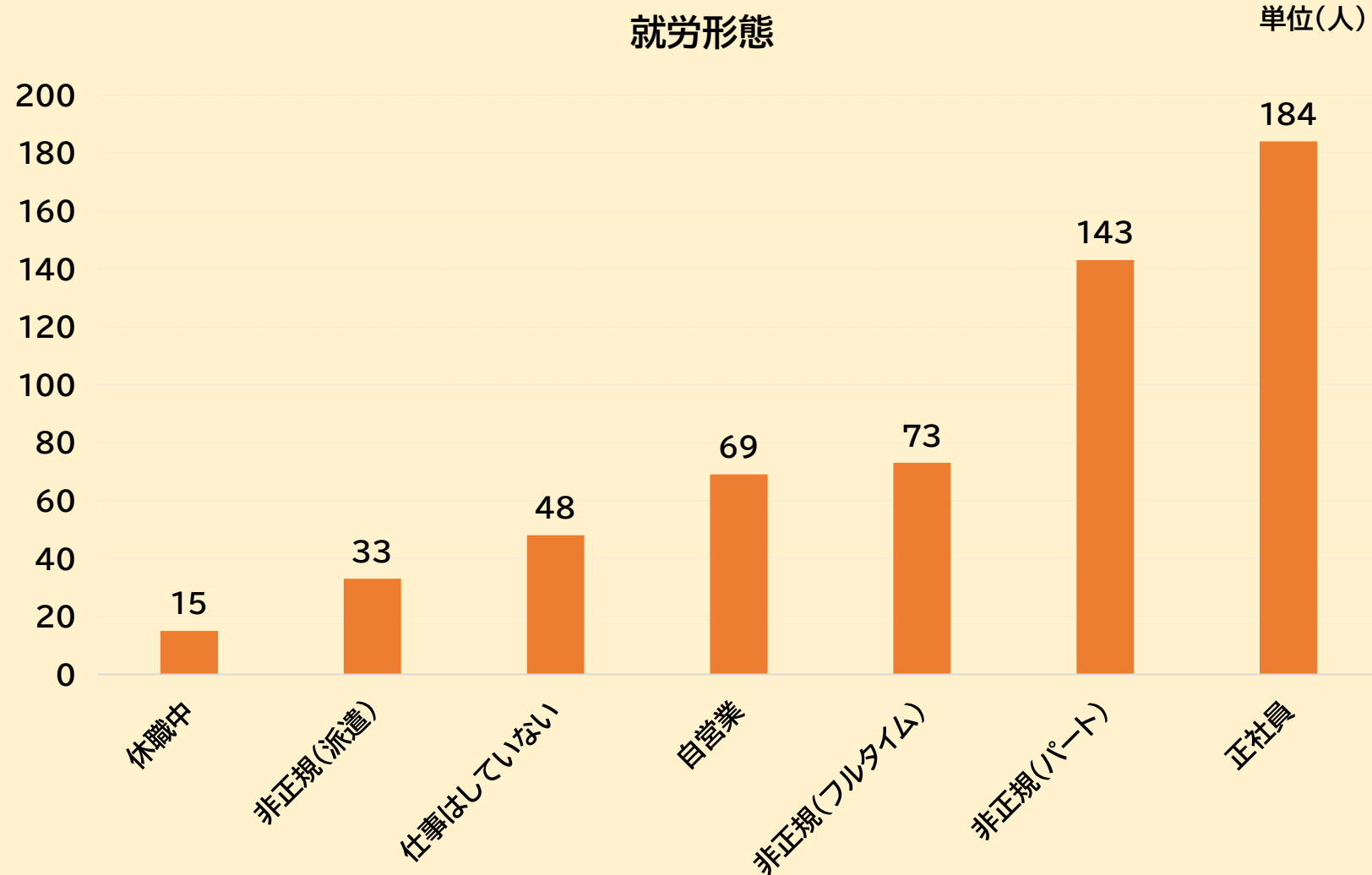


## 6 もっとお金をかけたいこと



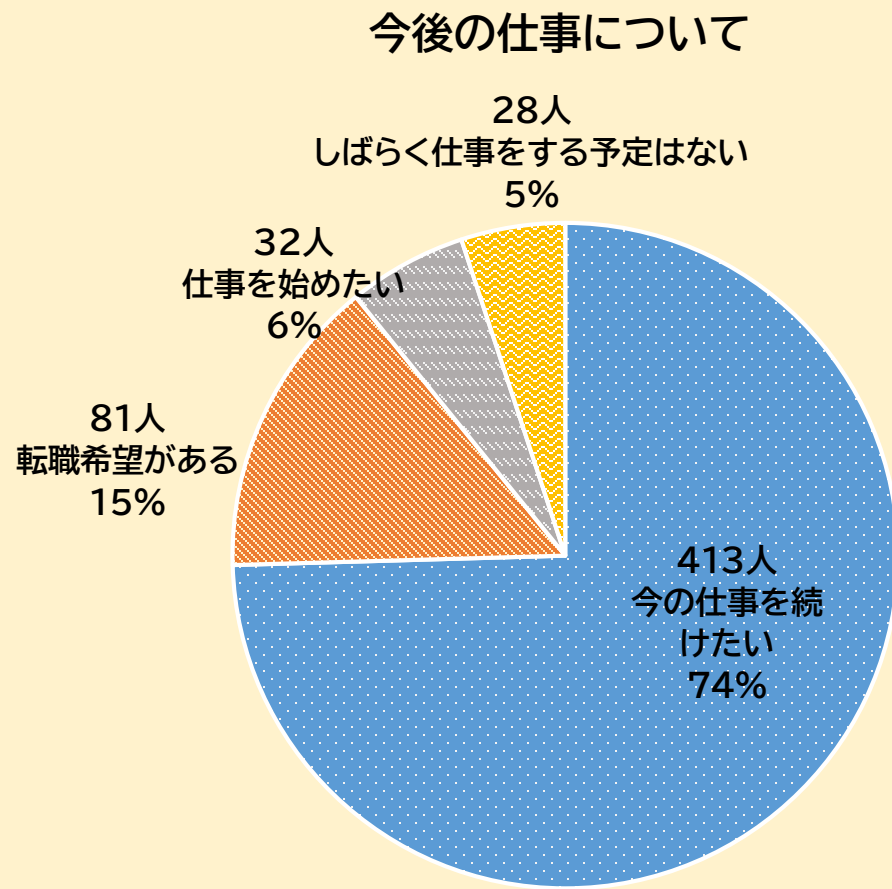
もっとお金をかけたいと感じている順に3つ選択して回答いただいた。  
1番にかけたいものは「貯蓄」，「塾・習い事の費用」，「食費」が上位となったが，総合的にも「貯蓄」，「塾・習い事の費用」，「食費」の順番となり，同じ結果となった。

## 7 就労について（複数回答）



就労形態は正社員が184人で最多，続いて非正規（パート），非正規（フルタイム），自営業と続いている。

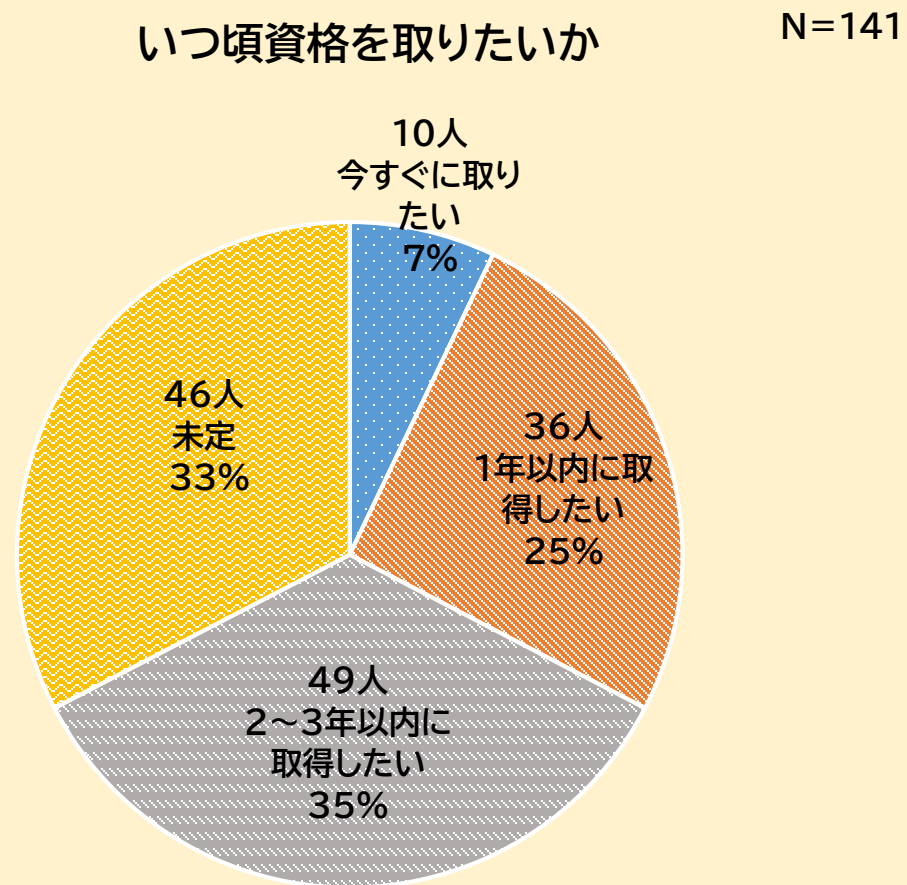
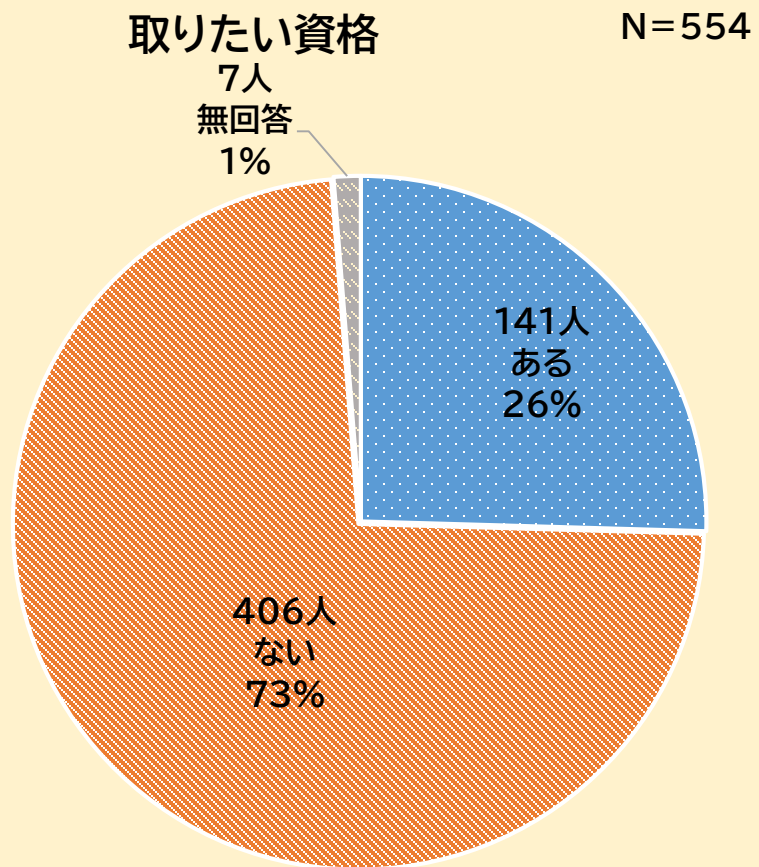
## 7 就労について②



全体で74%が「今の仕事を続けたい」と考えている。15%が「転職希望がある」と回答。

「転職希望がある」「仕事を始めたい」と回答した方が希望する仕事として、IT関係、事務職、保育士、介護関係と具体的に考えている方、家庭やご自身の状況により転職や仕事を始めたいと考えている方がいた。

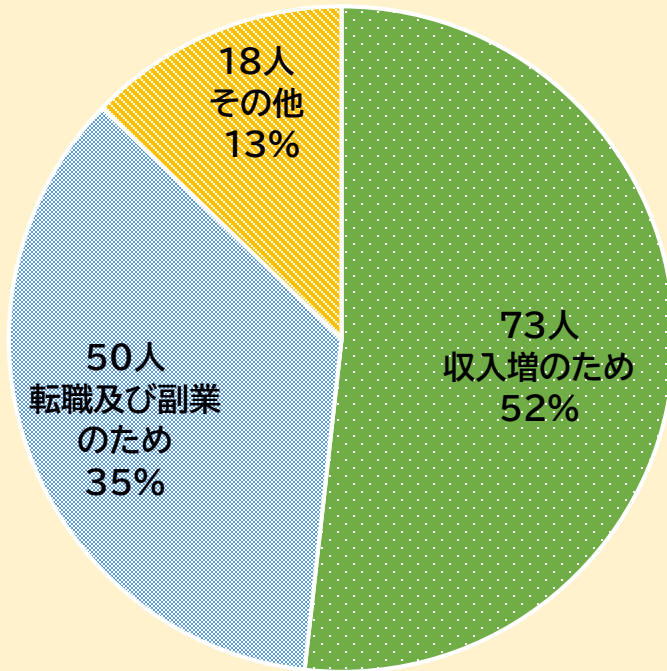
## 8 取りたい資格について



## 8 取りたい資格について

資格を取得したい理由

N=141

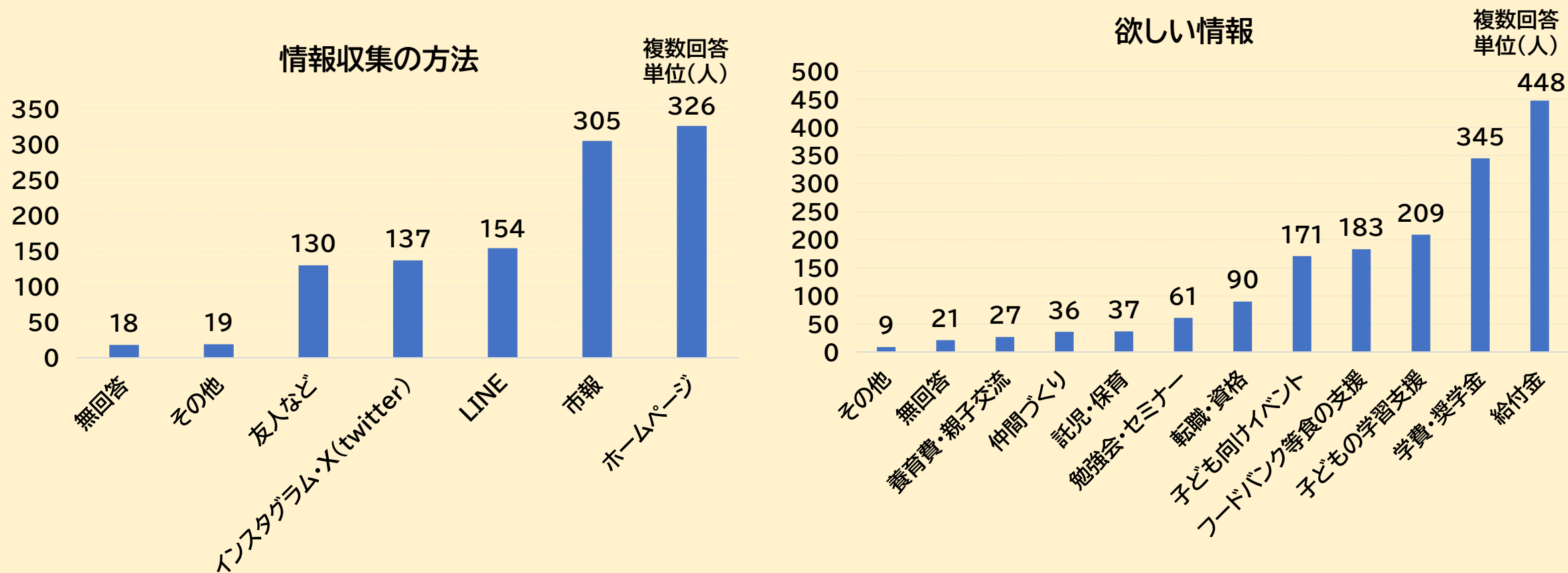


取りたい資格が「ある」と回答した人のうち52%が「収入増のため」資格を取得したいと回答。

### 取りたい資格

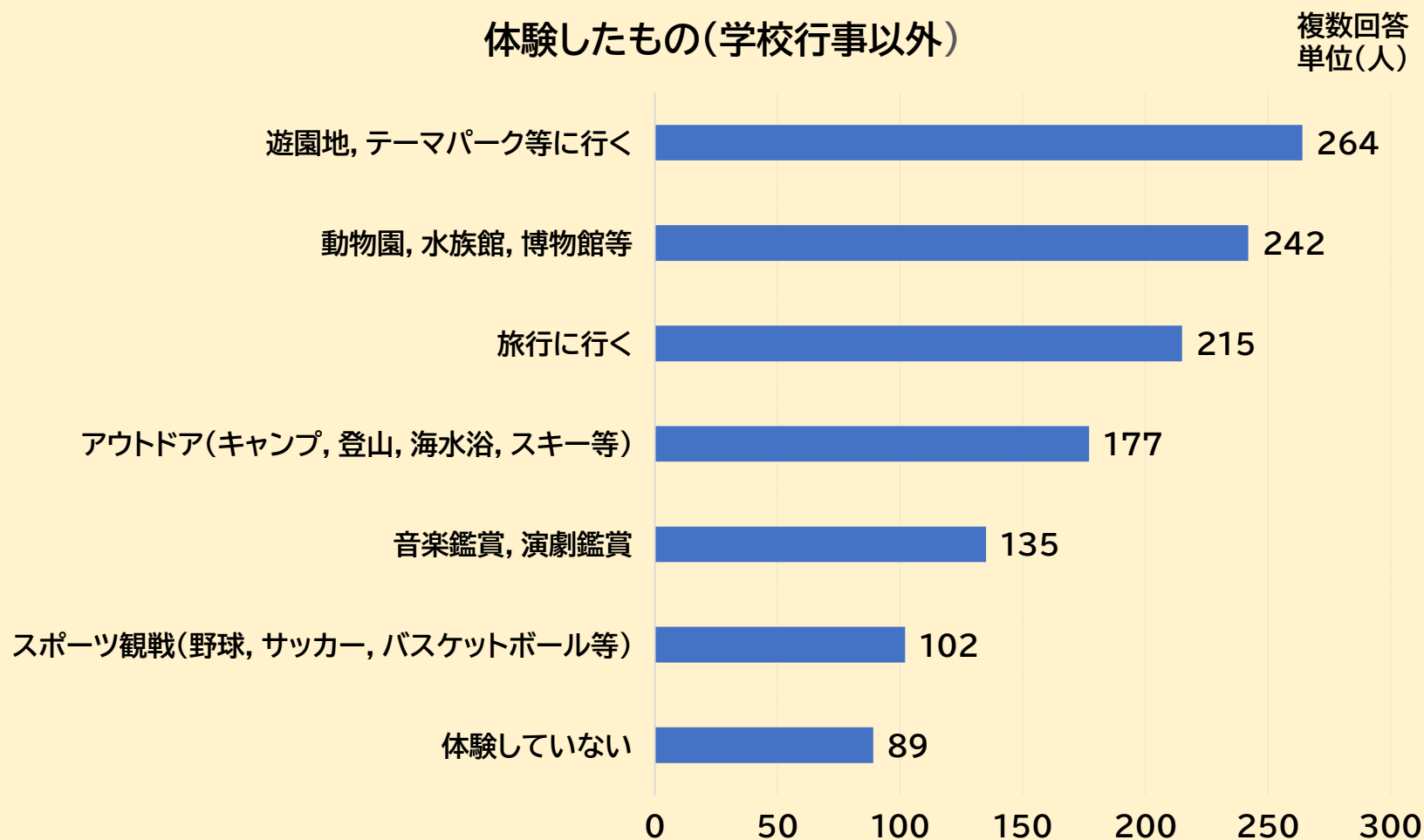
ITパスポート, MOS, CAD, Webデザイン, 生成AIパスポート  
ファイナンシャルプランナー, 不動産鑑定士, 二級建築士,  
賃貸不動産経営管理士, 宅地建物取引士, 簿記, 看護師,  
社会福祉士, 精神保健福祉士, 管理栄養士, 保育士, 美容師  
等

## 9 情報収集について



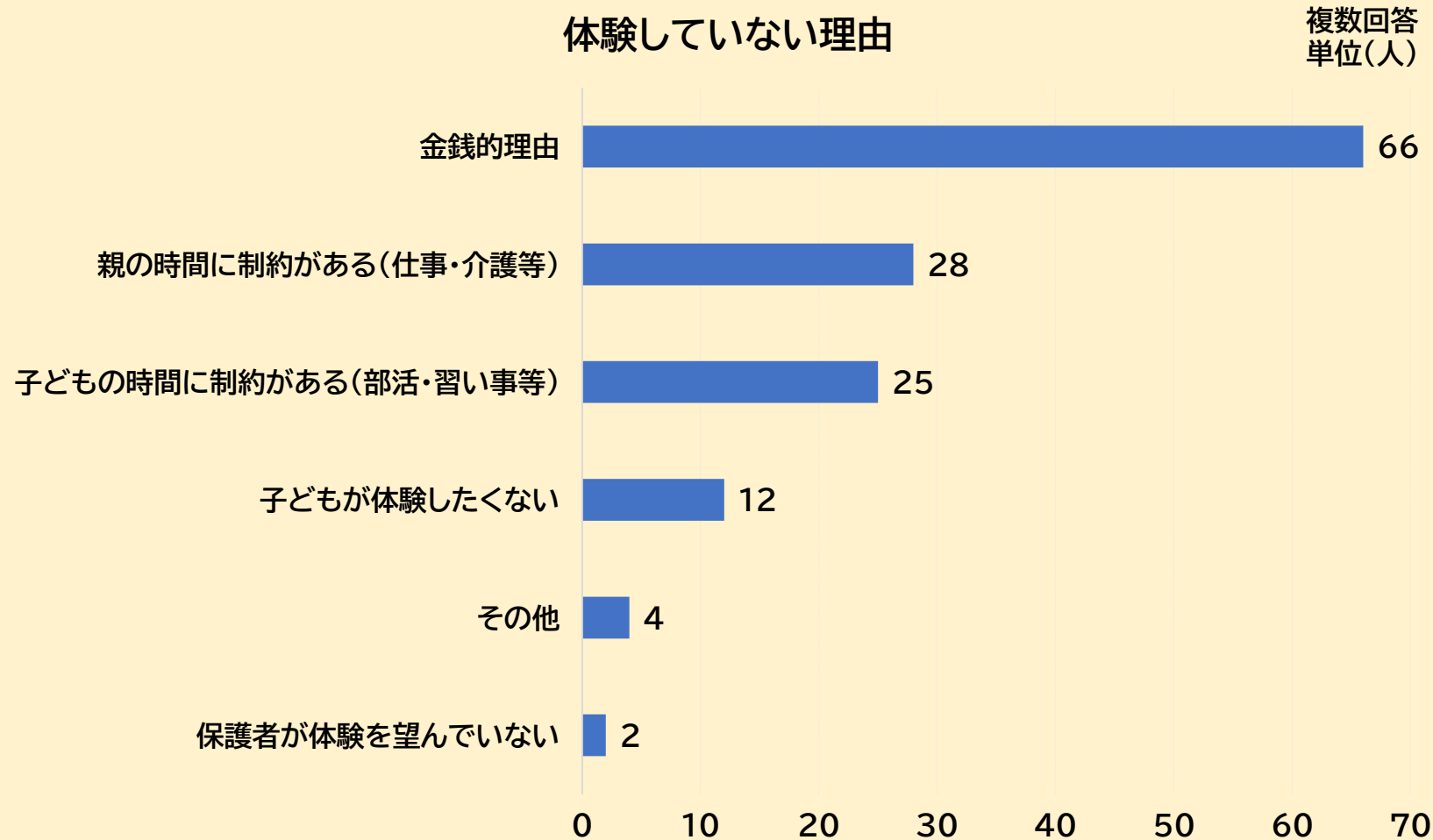
情報収集の方法は、大半の人がホームページや市報から情報を得ている。  
欲しい情報は、「給付金」，「学費・奨学金」，「子どもの学習支援」，「フードバンク等食の支援」が上位になった。

## 10 お子様の体験について



この1年で子どもが学校行事以外で体験したものは、「遊園地, テーマパーク等に行く」, 「動物園, 水族館, 博物館等」, 「旅行に行く」が上位となった。「体験していない」も一定数いた。

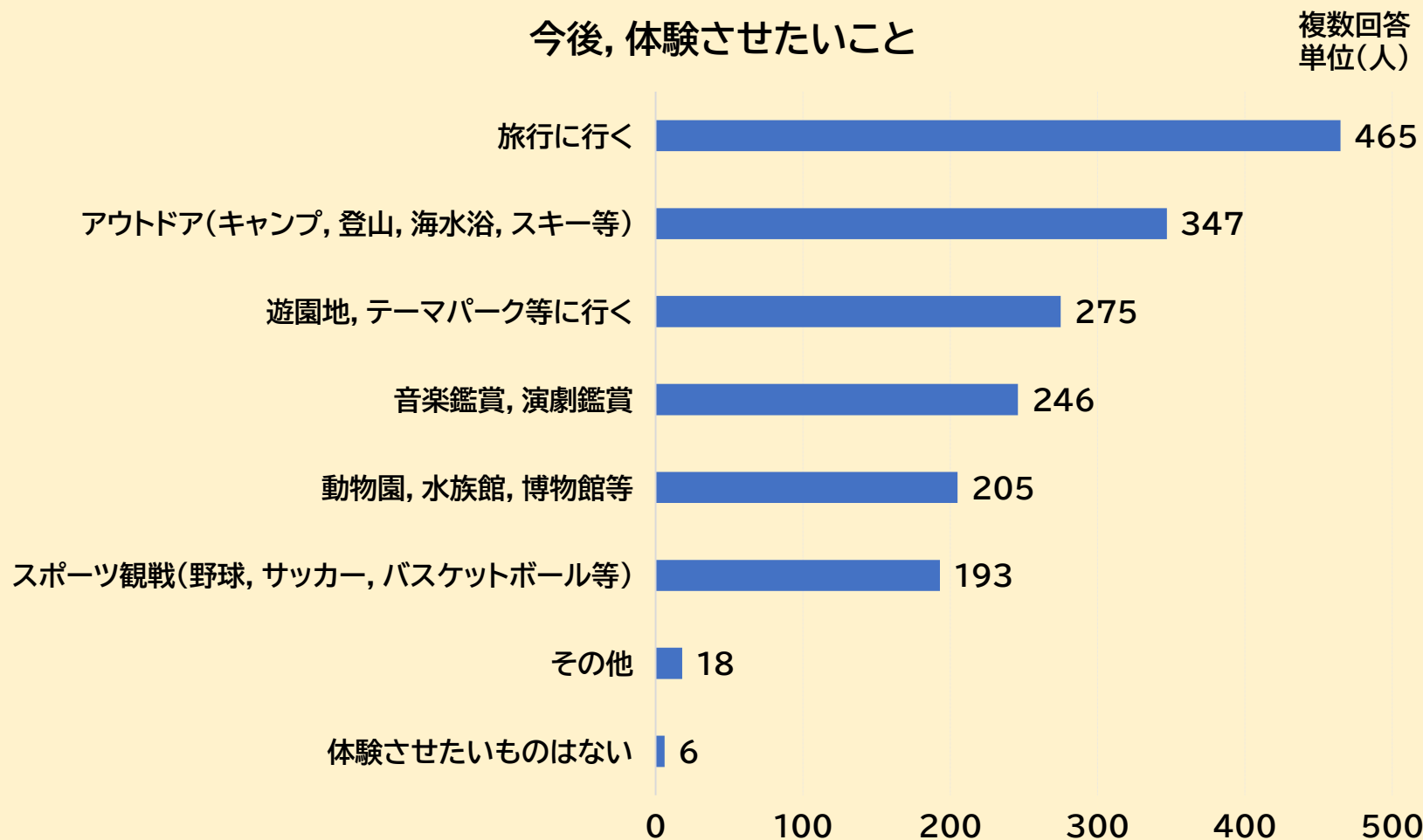
## 10 お子様の体験について



体験していないと回答した89人の理由として、「金銭的理由」，「親の時間に制約がある」，「子どもの時間に制約がある」が上位となった。「子どもが体験したくない」と思っている家庭もあった。

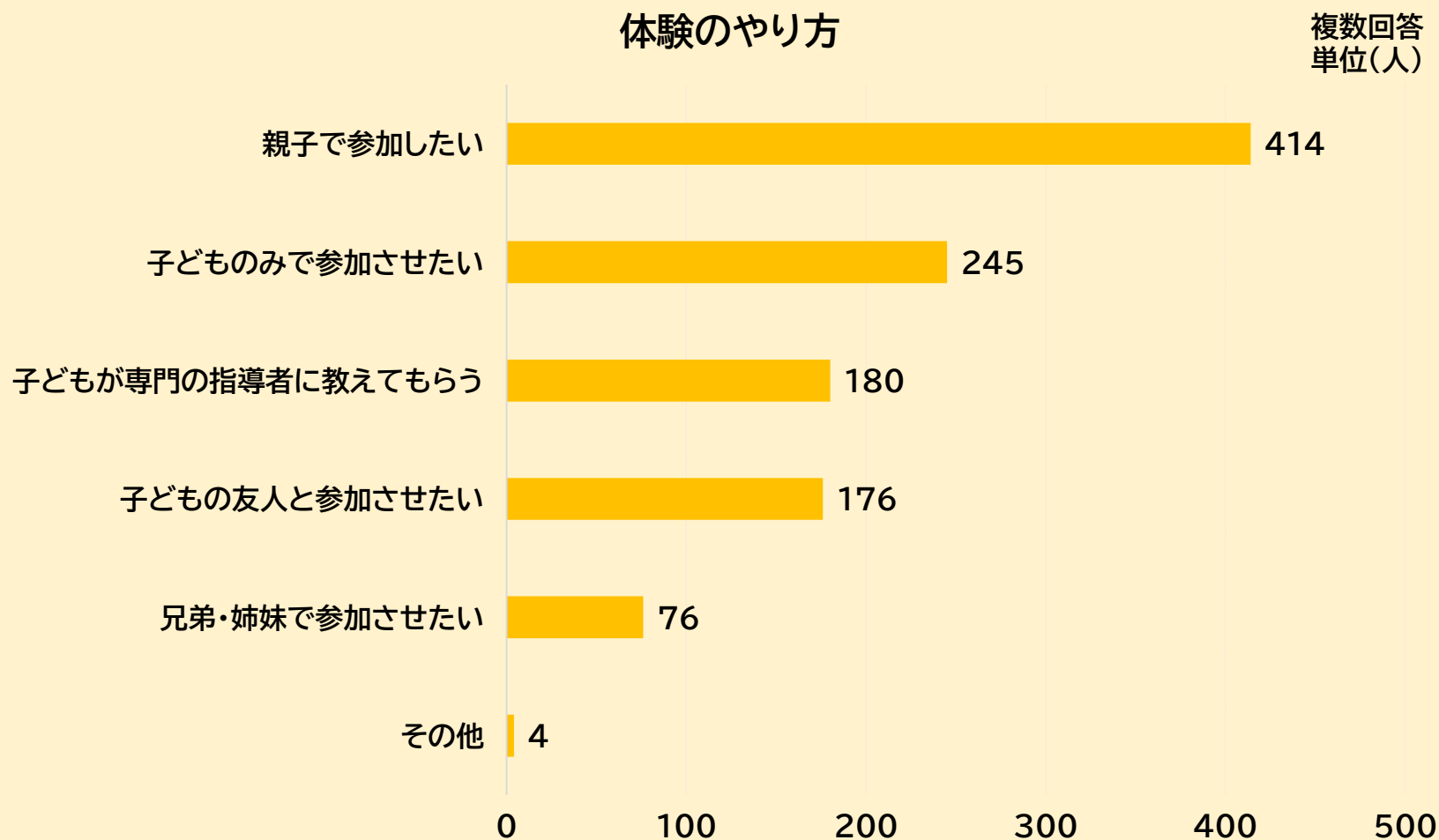


## 10 お子様の体験について



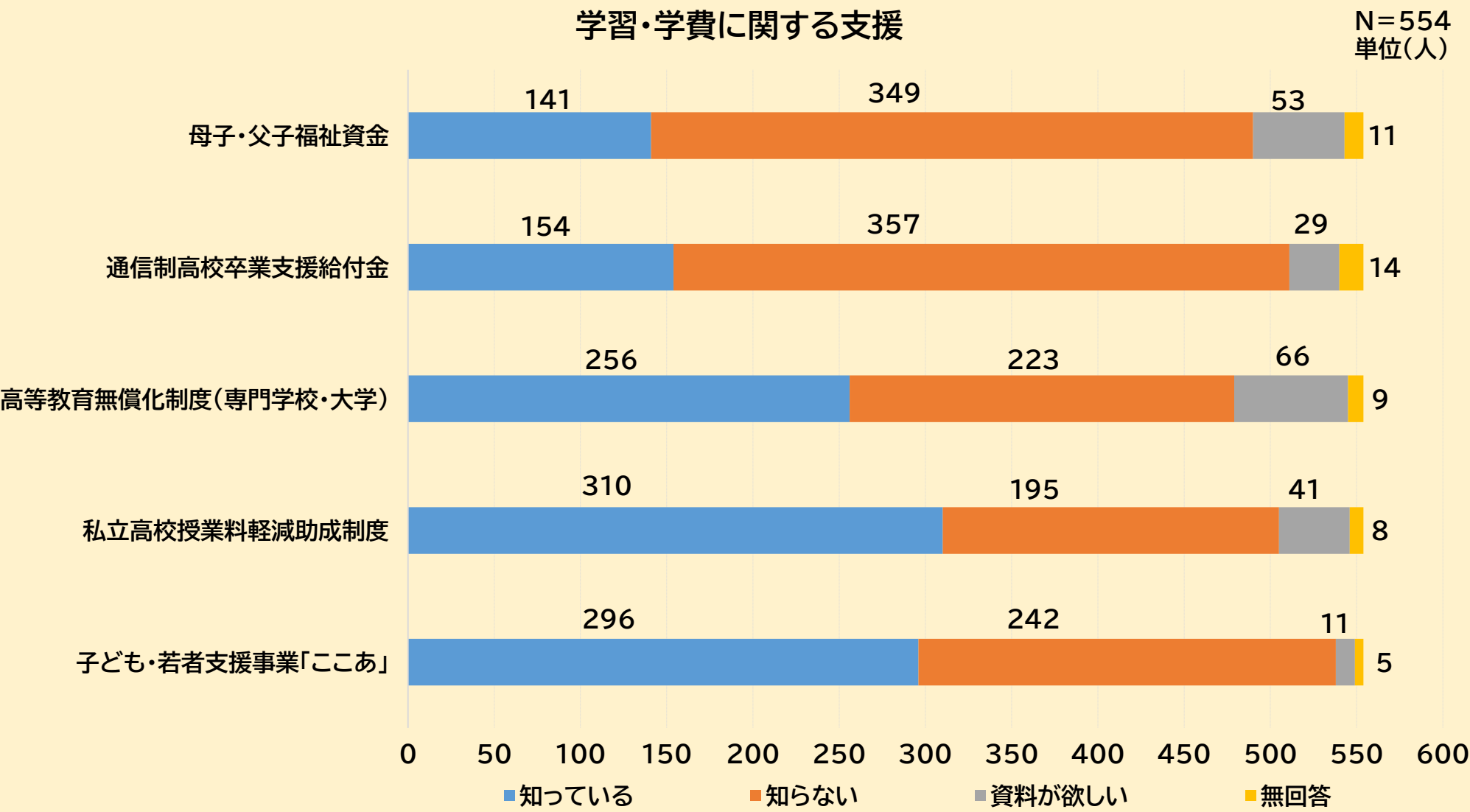
今後、体験させたいことは「旅行に行く」「アウトドア」「遊園地, テーマパーク等に行く」「音楽鑑賞, 演劇鑑賞」の順番となった。「その他」には、釣り・映画館・職業体験・大学等の体験授業・野菜収穫体験・習い事等が挙げられた。

## 10 お子様の体験について

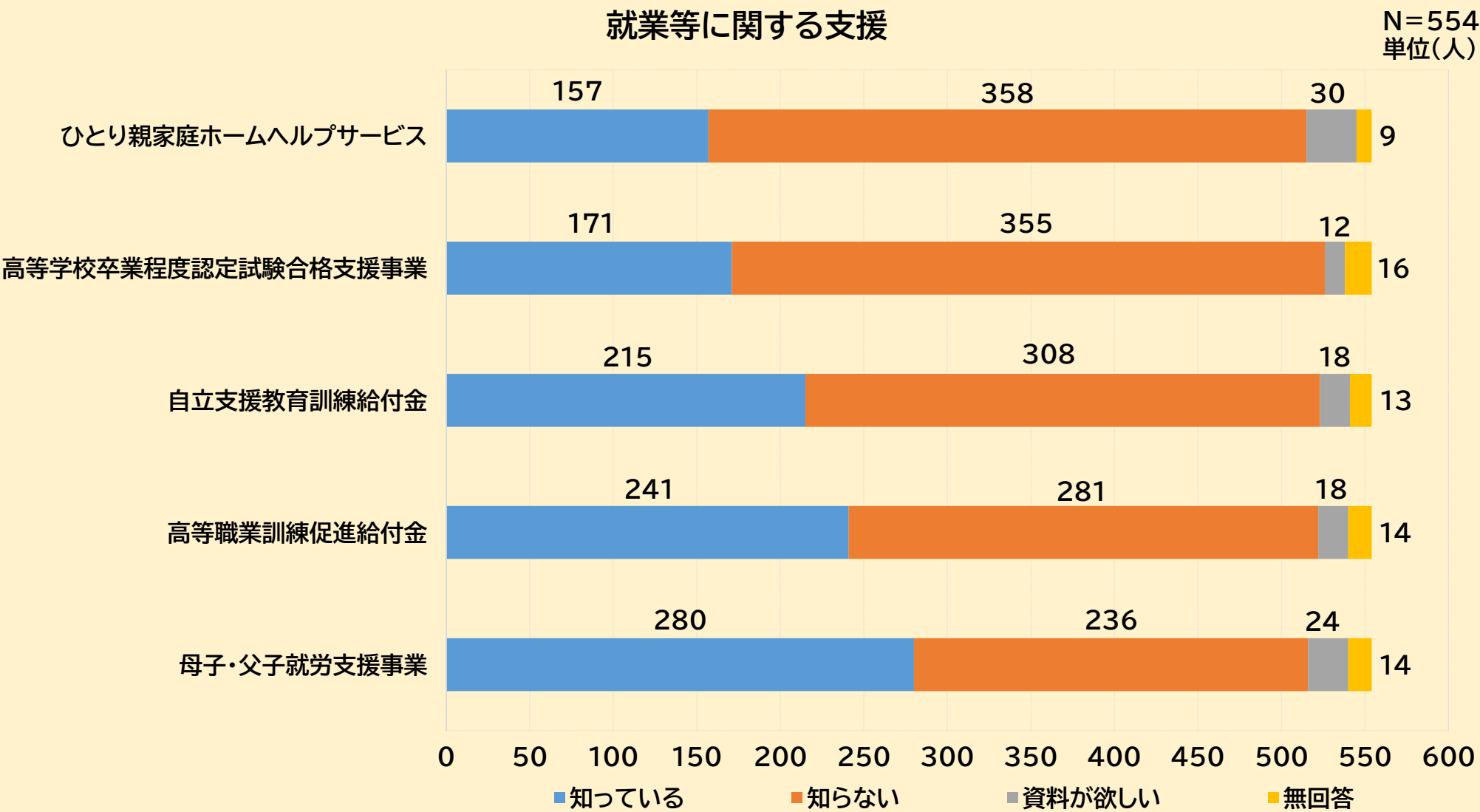


体験のやり方について、「親子で参加したい」「子どものみで参加させたい」「子どもが専門の指導者に教えてもらおう」が多かった。

1 1 学習・学費に関する支援の認知度について



1 2 就業等に関する支援の認知度について



1 3 養育費と親子交流に関する支援の認知度について

